

議会だより

No. 109
2020.8.1 発行

もろやま

MOROYAMA ASSEMBLY NEWS



表紙の作品

第1回観光協会観光フォトグランプリ 議会だより賞
題名「花はす咲く頃」
わーきれいなお花だね。



撮影者 大谷木春男さん
撮影場所 大谷木
撮影日 2019年

2～3P コロナウイルス感染症対応補正予算

6～9P 一般質問6人が登壇

発行／毛呂山町議会 編集／毛呂山町議会だより編集委員会
〒350-0493 埼玉県入間郡毛呂山町中央2丁目1番地
☎049-295-2112

バックナンバーはこちらです⇒



○議会だよりは議員の自主編集により発行しています。

36億3,214万円

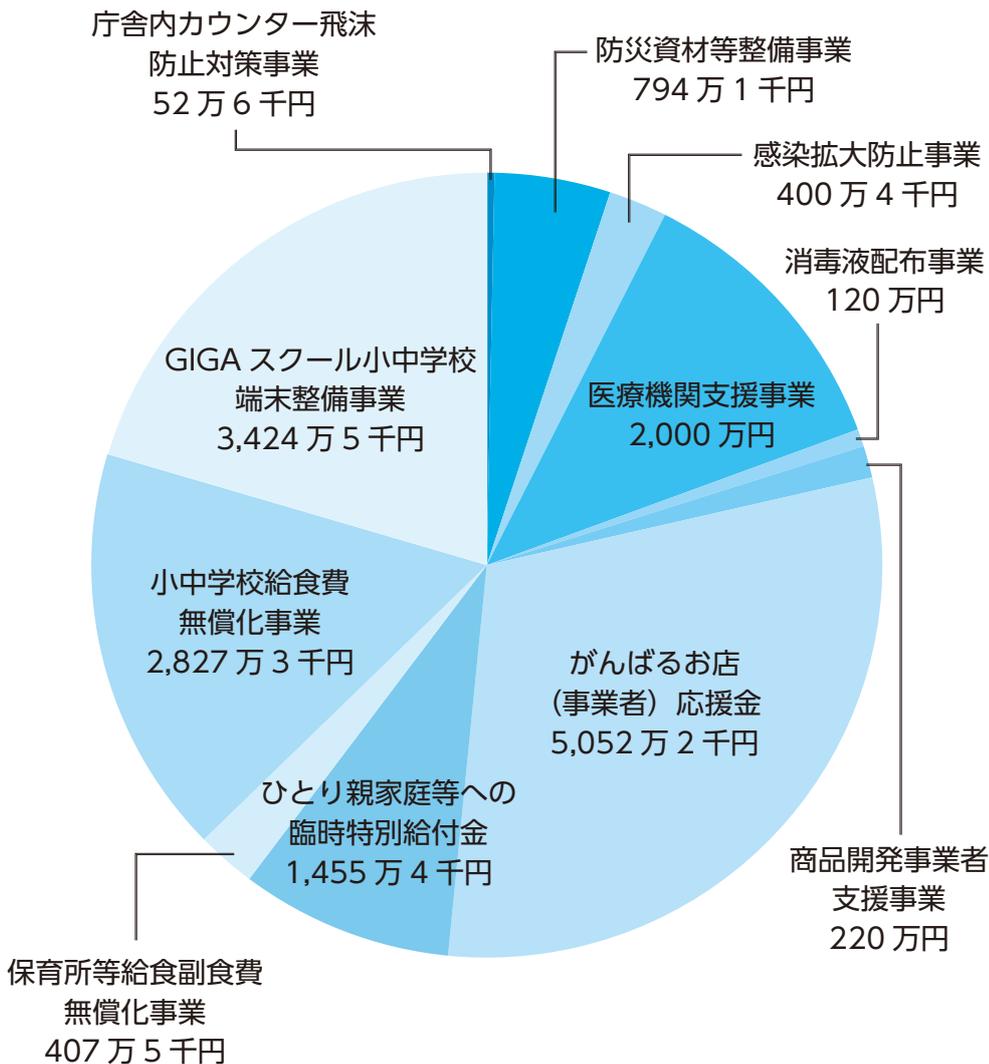
今定例会では、国民一人あたり10万円の給付金や町独自の感染症対応予算が上程され過去最大規模の補正予算が、全員賛成にて可決されました。補正予算の内訳としては、特別定額給付金給付事業33億5,570万円、子育て世帯への臨時特別給付金事業3,515万円、新型コロナウイルス感染症対応地方創生臨時交付金1億4,549万円などです。

地方創生臨時交付金事業においては、国の補助金を充当していますが、不足額の3,500万円は自主財源より捻出しています。

令和2年6月定例会は、5月29日から6月1日までの4日間の会期で開催されました。今議会の議案は、専決処分6件、条例の一部改正6件、規約の変更1件、補正予算2件、合計15件が上程され慎重な審議が行われました。一般質問は6人の議員が登壇し活発な質問が展開されました。

注目事業

新型コロナウイルス感染症対応 毛呂山町の独自施策 1億6,754万円



感染予防のために
マスクの着用
手洗いうがいを
心がけましょう。

新型コロナウイルス感染症対応

補正予算過去最大の

町の新型コロナウイルス感染症対応独自施策

1億6,754万円を詳しく解説

※感染拡大予防策

①庁舎内カウンター飛沫防止対策事業

庁舎内カウンターに飛沫防止ボード及び仕切りパネルを設置します。

②防災資材等整備事業

避難所での密接密集を防止するため、間仕切りセット、防災備蓄マット、資材を収納する倉庫を購入します。

③感染拡大防止事業

マスク1万8,000枚、消毒液1,145本、非接触型体温計63台、手洗い液体石鹸200本等を公共施設、教育施設等に配布します。

④医療機関支援事業

指定医療機関である埼玉医科大学病院へ感染症対策医療消耗品等の購入を補助します。

⑤コロナに負けない！消毒液配布事業

飲食サービス業約200店舗へアルコール消毒液250ml10本を配布します。

※地域経済対策

①商品開発事業者支援事業

新型コロナウイルス感染拡大により低迷している地域経済を支えるため、ふるさと納税の返礼品提供商品発掘及び新たな商品開発を進め町内事業者の増収を図ります。

②がんばるお店（事業者）応援金

新型コロナウイルス感染症の影響により、令和2年3月～5月の間いずれかの月の売上高と前年同月の売上高と比較して20%以上減少した町内で事業を行っている中小・小規模企業者に10万円を給付します。

申請件数を最大500件としていますが申請者が上限数を超過した場合はこの限りではありません。

※町民生活支援策

①ひとり親家庭等への臨時特別給付金

ひとり親家庭等を対象に一律5万円を支給します。

②保育所等給食副食費無償化事業

保育所等に入所している各家庭から徴収している副食費を3か月分免除します。

③小中学校給食費無償化事業

町立小中学校に通う児童生徒の給食費3か月分を免除します。

④GIGAスクール小中学校端末整備事業

町立小中学校の児童生徒用として1人1台学習用タブレットを学校に配備します。

町民生活を守れ！主な質疑と討論

特別定額給付金

Q 給付金の申請手続き確認作業は多大な事務作業を要する、町の対応は。

A 臨時窓口の対応や申請書の確認作業などが多忙のため全庁的に協力依頼を実施した。

Q 全庁とは庁舎外施設、公民館・総合公園等の職員も含まれているのか。

A 協力体制は各課に任せているので、庁舎外の職員も含まれる。

Q 各自治体ではマイナンバーカードの手続きに苦慮されている。町の状況は。

A 暗証番号を忘れたケースや、登録の手続きミスなどで混乱を生じた。

Q 給付金を請求したくてもできない身体の不自由な方への対応は。

A 家族など代理人の申請が可能である。

Q 給付金を受給するにあたり口座のない町民への対応は。

A 現金にて給付している。

商品開発事業者支援事業

Q 商品開発事業者支援事業は、新型コロナウイルス対策予算で実施すべき事業なのか。

A 商品開発を提案し、今後継続的に経済支援を行うために予算計上した。

Q 商品開発事業者支援事業は、ふるさと納税返礼のように事業者にアプローチをするのか。

A 事業者を発掘するための資料制作や説明会を実施する。

Q 緊急事態宣言が解除さ

れたとはいえ、第2波・第3波が懸念される。そのような状況のなかで企業訪問や説明会が実施できるのか。

A これからはウイルスを恐れるのではなくそこにあるという認識を持ち、新しい生活様式のなかで3密を避け経済発展のために立ち止まらずに事業を実施する。

感染拡大防止事業

Q 消毒液、液体石鹸などを確保することが苦慮されると思うが、どのように確保するのか。

A あらゆる手段を講じ、できるだけ早い時期に各公共施設に配布する。

がんばるお店応援金

Q がんばるお店応援金について対象者は10000件であるのに、なぜ500

件分の予算しか計上していないのか。

A 1000件のなかには、中小企業の定義を超えた大手企業も含まれるほか、支給要件にある売上高が20%以上減少した全ての企業を把握することは困難であるため、全体の50%の予算を計上した。しかし、超過が見込まれた事業費に対しては、町の政策会議において不足額を充当する事と方向性が決定している。

Q 応援金対象数を500件と限定列挙した周知では混乱を招く恐れがある。町では不足額を補う方向性が決定しているのであれば、広報での周知に配慮が必要ではないか。

A 6月1日発行の広報と合わせて配布する緊急支援事業のチラシには500件と明記している状況にあるが、改めて町ホームページ等で疑念が生じないよう周知していく。

新型コロナウイルス対応補正予算

討論
賛成します



堀江快治

令和2年度一般会計補正予算(第2号)に賛成の討論を行う。

新型コロナウイルス感染症対策に、各支出配分は、現況に鑑みて適切である。各位の緊張感と熱意が充分理解出来る。

しかし埼玉県内での比較では、かならずしも満足な段階とは言えない。

現時点で、十分な成果をあげなければ、憂慮されると考察する。

この逆境に際し、一歩でも前進を図ることが重要である。困窮する商工業への支援、昼夜をとわずコロナ対策に立ち向かう病院、教育環境向上のタブレットなど教科備品の確保対策。

難局を乗り切る意志確認を図り、前進しよう。

討論
賛成します



高橋達夫

日中国交回復時の中国のテレビニュースでは大勢の人が国民服で自転車に乗り、道路を走っていた。

しかし今の中国は日本より進展しているように思える。原因はIT化の進展によるものと考えられる。

この補正予算では教育のオンライン化を進めるため、学校へのタブレット等の予算が計上されている。

また「頑張るお店応援金」では500件分、5000万円を計上しているが、万一不足した場合の対応についての私の質疑に対し、次の予算で不足分を必ず計上すると答弁を得た。

よって令和2年度補正予算第2号に私は賛成する。

討論
賛成します



千葉三津子

一番大変な思いで感染者の受け入れを行っている指定医療機関「埼玉医科大学病院」への支援は当然であり経済を担う飲食店や中小企業への給付も活気ある町づくりには欠かせない応援金だ。

ひとり親家庭への給付や保育所等への副食代無償化、町立小中学校の給食費3ヵ月免除は、党としての要望でもある。

災害や感染症等の発生による学校の臨時休業の緊急時に備えて全ての児童生徒の学びを保障できる端末タブレットの購入は、未来を担う子どもたちに必要な整備事業だ。

緊急性や重要性に基づく町民目線に立った予算である。

討論
賛成します



佐藤秀樹

新型コロナウイルス感染症緊急経済対策としての今回の補正予算は、町民の生活を守る為に可能な限りの支援策を講じたものになっており、特に子育て世代への支援は手厚く、臨時交付金事業の5割以上を占めております。

子供たちの将来を見据えた確かな判断であります。

また町内の経済対策として収入が減少した事業者へ店舗数は限られておりますが、10万円の支給、更に指定医療機関への支援は医療と福祉の充実に対し当然の決断であり、この有事とも言える困難に対し、短期間で多くの事業を計上できた事は評価に値します。

討論
賛成します



澤田 巖

新型コロナウイルス感染症拡大により収入減などや子育て世帯への経済的な負担は深刻である。この特別定額給付金及び新型コロナウイルス感染症の影響を受けている子育て世帯への臨時特別給付金は「いかに迅速に給付出来るか」が重要です。

【拙速は巧遅に勝る】という言葉のように、町民に分かり易く周知され正確に、そして確実に、一日も早く町民全員に給付されますよう役場内関係機関との連携のもと、ご尽力を頂きたいと思っております。

今後議員が丸ととなり毛呂山町を支え毛呂山町政の更なる進展に邁進していく決意であること表明いたしました私を賛成討論いたします。

一般質問 町政を問う! ~6名が登壇~

新型コロナウイルス感染症拡大防止対策として、6月定例会一般質問の実施にあたり、5月20日の議会運営委員会で協議を行いました。

町当局では感染拡大予防のため、分散勤務を実施していることや、給付金申請等の業務が増加していることを鑑み、今定例会一般質問は1人20分(通常は1時間)とし再質問は行わないと言う取り決めを設け実施しました。

感染拡大防止対策を講じたうえでの議会開催であったため、一般質問の登壇は6人となりました。

一般質問は常時議員個人の判断により通告書を提出し実施されます。

- 新型コロナ対策
 - 新型コロナ感染に関する国民健康保険
- 牧瀬 明

- 教育・子育て環境の充実
 - 緊急支援対策
 - 基金条例
 - 健康管理
- 小峰 明雄

- 新型コロナウイルス
- 高橋 達夫

- 今後における新型コロナウイルス感染防止対策等
- 神山 和之

- 新型コロナウイルス感染症対策
 - 公共施設の利活用
- 岡野 勉

- 開発許可
- 長瀬 衛

町議会の傍聴について

議会(本会議)の開催

町議会は、定例会、年4回(3月、6月、9月、12月)と必要がある場合に開かれる臨時会があります。

本会議は、午前9時30分からはじまり、受付は、当日5階の生涯学習課窓口で、傍聴申込書に、住所、氏名を記入していただくだけで傍聴ができます。

傍聴席は34席で、先着順に受け付けています。

なお、新型コロナウイルス感染拡大防止のため、当面の間は座席数を減らして対応します。

議会傍聴人には守るべき事項があります。(傍聴規則より)

- (1) 議場における言論に対して拍手その他の方法により公然と可否を表明しないこと。
 - (2) 談論し、放歌し、高笑し、その他騒ぎ立てないこと。
 - (3) 帽子、コート、マフラーの類を着用しないこと。
ただし、病気その他の理由により議長の許可を得た場合は、この限りではない。
- (その他)議場内では、携帯電話・録音機の使用も禁止されています。

議会一般質問ケーブルテレビ放映中!

各議員一般質問登壇日より約1~2週間後が放映予定日です。

一般質問登壇順はくじ引きで決定するため、町ホームページをご覧くださいか議会事務局(Tel 295-2112 内線411)までお問い合わせ下さい。



新型コロナウイルス対策について

町民の健康、生活、経済支援を



牧瀬 明

交付されています。その財源の用途に対する町の考えを伺います。

問 新型コロナウイルス感染拡大防止策として、国は自粛策をとりました。その自粛に対する保障として、国は臨時交付金1兆円を組み毛呂山町へは1億4千万円が

答 新型コロナウイルス感染症対応地方創生臨時交付金についての用途については、感染拡大予防、経済対策、生活支援を実施します。
感染拡大予防では、マスクや手指消毒アルコール等を確保し町内公共施設、小中学校、子育

て支援施設等に配布し、災害時における避難所内での密集密接防止用資材の整備、指定医療機関への補助等を行います。

経済対策として、新型コロナウイルスの感染拡大に伴い収入が減少した中小・小規模企業に対する給付を行います。

生活支援に関しては、町立小中学校の給食費の無償化、保育所等の副食費無償化、ひとり親家庭等への臨時特別給付金等により子育て世帯への生活支援を行います。

問 被国民健康保険者の資格証明書者に対して、新型コロナウイルス感

染についての診療に関する周知を徹底していただきたい。

答 国民健康保険資格証明書の方に対する新型コロナウイルス感染症に伴う診療に関する周知の徹底については、本町の対象者（本年の三月三十一日）には個々に通知いたします。

新型コロナウイルス医療機関への支援は

埼玉医科大学病院への補助事業費を計上



小峰 明雄

を防止する為、医師や看護師などの医療従事者の皆様が、自らの感染リスクと背中合わせで、感染患者の治療や看護にあたりております事に感謝申し上げます。町内の医療機関への支援は。

問 新型コロナウイルス感染の影響で、商工会より町独自の支援策の実施をお願いしたい要望書が提出されました。ご見解は。また、医療現場では、感染拡大

答 毛呂山町飲食業・サービス業応援プロジェクトをスタート。売上が減少した町内中小・小規模企業者に応援金を支給する町独自の緊急支援事業などを計上。

指定医療機関の埼玉医科大学病院が感染症対策の医療消耗品等の購入を補助する事業費を計上。

問 連続99回目の一般質問。新型コロナウイルス感染拡大防止による臨時休校で、在宅の児童・生徒への学習支援の取り組みは。

答 各学校より、家庭にて取り組める学習課題を配布した。

問 臨時休校で在宅の児童・生徒のメンタルヘルスへの対応は。

答 各学校で家庭訪問や電話で心身の健康状態の確認を行った。

問 県内自治体では、ひとり親家庭に対し緊急支援給付金の支給など独自支援を行っているが。

答 3ヶ月分の給食を無償提供。ひとり親家庭等に給付金を支給。3ヶ月分の保育所等の給食副食費を無償。

問 地域経済対策や感染症予防対策などに要する経費に充てる基金条例は必要。

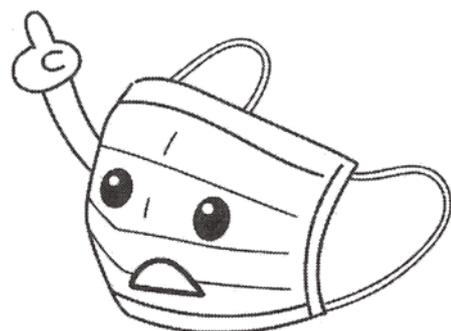
答 十分な検討が必要。

問 新型コロナウイルス感染拡大防止による外出自粛で、生活不活発によるサルコペニアなど健康への影響が危惧されます。ご見解は。

答 町のホームページ上で、「おうちで介護予防教室」と題した取り組みを展開中。



町内の医療・福祉施設への支援を



社会インフラ医療体制の拡充を コロナ自粛と保障はセット

「頑張るお店応援金」については

【問】全ての業者に行き届く事が肝要と認識している



高橋 達夫

【問】 昨年末中国武漢から発生したと言われる新型コロナウイルスは瞬く間に世界中に蔓延し、政府は4月16日に緊急事態宣言を発令した。5月25日に宣言は

解除されたが、ウイルスがいなくなった訳でもなく、有効なワクチンは未だ開発されていない。この新型コロナウイルスの流行はこれからの生活様式を大きく変えるように思える。厚労省は「新しい生活様式」を公表し、3蜜を避けるため、テレワークが主体の働き方やオンライン教育が必要になる。それによつて毛呂山町はどう変わるのか。

【答】 町でもデジタル化が進まれ、買物の電子化、医療の遠隔化、教育のオンライン化など、スマート社会の実現が加速化すると考えられる。毛呂山町総合振興計画後期計画もコロナの影響で町民生活も大きく変化する局面を迎え施策の見直しも必要になってくると考える。

「頑張るお店応援金」について

【問】 新型コロナウイルス対応感染症地方創生交付金の中に「頑張るお店応援金」として売上が減少した飲食店や中小企業に10万円を給付するとして5千万円の予算が計上されているが、な

ぜ対象事業者は1000件あるのに500件分の5千万円なのか。

【答】 今回の交付金では支給要件に合致した事業者数を50%の500件と見込み予算計上したが、予想件数を超えての申請も考えられるため不備が生じないよう適切に対応したいと考えている。基金の取崩しも視野に入れ、町内事業者が疲弊している中で事業者を応援するための事業であるので、全てに行き届く事が肝要と認識している。

今後における新型コロナウイルス感染防止対策について

【問】国・県と連携し、感染状況や対処方針を把握し感染防止に努める



神山 和之

【問】 今後、第2波・第3波によるクラスターの感染拡大も予測され地元医師会等の協力を頂き屋外に発熱外来の設置、PCR検査及び抗原検査等の実施が必

要だ。また災害等が発生した場合避難所の3密対策について、どのような措置を講ずるか伺う。
【答】 発熱や咳などの症状がある人の専用スペースの確保と換気対策、避難所の感染を防止する為、新たな避難所を設置する。
【問】 コロナ対策第2次補正により、更なる町民生活支援と地域経済対策事業が求められるなか町のコロナ対策会議では、一人

親世帯、事業主、コロナによる生活困窮者等、町独自の支援対策は会議に諮られたか伺う。
【答】 役場職員の昼食を町内業者に注文し、積極的に活用した。一人親世帯に対して、学童保育等で子供が預かれるよう調整した。コロナによる生活困窮者に対しては、町税の納付猶予等について関係各課で対応を情報共有し、住民に周知した。

【問】 今後の対策として、県から委嘱された医療災害専門医師の事前指導が必要と考えるが伺う。
【答】 町の危機管理の重要な問題、専門家の助言を頂き対応する。

【問】 新型ウイルスの目に見えない恐怖と戦う医療従事者から私のところに切実な相談があり、出勤で子供を預けようとしたら拒否された。歯科で医大勤務と告げたら受信を拒否された。県内で差別的な発言や偏見がある本町では、県内外から多くの患者が搬送され、その生命を守る為、職員の皆様が頑張っている。町ではこれから早急な対策が必要だ伺う。
【答】 町広報等を活用し人権侵害にならないよう正しい情報の啓発に努める。



コロナに負けない毛呂山独自の緊急支援事業



第2波・第3波に備える対策が必要

奨学金など、学生への支援を！

【問】国・県の支援が届くよう対応



岡野 勉

【問】 保健センターへの相談件数は現在83件、内容は感染の予防方法や風邪症状等があった場合の対応方法等に関するもの。対応としては、保健師が相談者の訴えに丁寧に対応、感染の可能性がある場合は、坂戸保健所内にある帰国者・接触者相談センターへ相談を促している。

【答】 保健センターへの相談件数は現在83件、内容は感染の予防方法や風邪症状等があった場合の対応方法等に関するもの。対応としては、保健師が相談者の訴えに丁寧に対応、感染の可能性がある場合は、坂戸保健所内にある帰国者・接触者相談センターへ相談を促している。

【問】 新型コロナウイルス感染症対策相談窓口、保健センター・坂戸保健所への相談、子ども課及び教育委員会など、これまでの相談件数・内容は。町内感染

【問】 感染拡大の影響で、大学生らが苦境に立たされている。バイト先の休業や親の収入減など学費や生活費の支払いに窮し、学生団体が実施したアンケートでは5人に1人が「退学を考えると」と回答。本町でも奨学金で

【問】 感染拡大の影響で、大学生らが苦境に立たされている。バイト先の休業や親の収入減など学費や生活費の支払いに窮し、学生団体が実施したアンケートでは5人に1人が「退学を考えると」と回答。本町でも奨学金で

【問】 航空自衛隊川角送信所町への移管と町民公園へ。跡地の防犯灯の設置要望。

【答】 (時間切れ) 答弁なし

【問】 航空自衛隊川角送信所町への移管と町民公園へ。跡地の防犯灯の設置要望。

【問】 感染拡大の影響で、大学生らが苦境に立たされている。バイト先の休業や親の収入減など学費や生活費の支払いに窮し、学生団体が実施したアンケートでは5人に1人が「退学を考えると」と回答。本町でも奨学金で

【問】 航空自衛隊川角送信所町への移管と町民公園へ。跡地の防犯灯の設置要望。

【問】 感染拡大の影響で、大学生らが苦境に立たされている。バイト先の休業や親の収入減など学費や生活費の支払いに窮し、学生団体が実施したアンケートでは5人に1人が「退学を考えると」と回答。本町でも奨学金で

【問】 航空自衛隊川角送信所町への移管と町民公園へ。跡地の防犯灯の設置要望。

【問】 感染拡大の影響で、大学生らが苦境に立たされている。バイト先の休業や親の収入減など学費や生活費の支払いに窮し、学生団体が実施したアンケートでは5人に1人が「退学を考えると」と回答。本町でも奨学金で

【問】 航空自衛隊川角送信所町への移管と町民公園へ。跡地の防犯灯の設置要望。

恣意的な商業施設開発に疑義！

【問】 地区環境に支障ある用途は排除する



長瀬 衛

【問】 人口減少、少子高齢化における町の課題は「持続可能な町づくり」である。長瀬駅北側地区の市街化調整区域内に大型商業施設開発問題は、都市計画法、



コンパクトで持続的なまちづくりを



「学びの継続」を公的支援で！

議案		議員名													審議結果	
		神山和之	下田泰章	平野隆	澤田巖	牧瀬明	佐藤秀樹	荒木かおる	千葉三津子	村田忠次郎	岡野勉	小峰明雄	高橋達夫	堀江快治	長瀬衛	
専決処分	一般会計補正予算(第1号)	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	議	承認
	条例の一部改正 税条例等、都市計画税条例、国民健康保険税条例、介護保険条例、固定資産評価審査委員会条例	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	議	承認
条例の一部改正	税条例、手数料条例、国民健康保険条例、国民健康保険税条例、後期高齢者医療に関する条例	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	議	原案可決
	放課後児童健全育成事業の設備及び運営に関する基準を定める条例	○	○	○	○	×	○	○	○	○	○	○	○	○	議	原案可決
規約変更	埼玉県市町村総合事務組合	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	議	原案可決
補正予算	一般会計補正予算(第2号)	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	議	原案可決
	国民健康保険特別会計補正予算(第1号)	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	議	原案可決

また平成27年に坂戸・鶴ヶ島消防本部内に坂戸・鶴ヶ島消防組合・西入間広域消防組合消防指令センターを設置し、当組合本部で行っていた119番通報の受付及び各消防署等への通信指令業務を坂戸・鶴ヶ島消防組合消防本部において



西入間広域消防組合

皆さんの生活に
関係する構成組合を
紹介します。

西入間広域消防組合は、昭和51年11月1日に毛呂山町と鳩山町(旧鳩山村)で、「毛呂山・鳩山消防組合」を設立し、昭和52年10月1日から業務を開始しています。昭和55年10月1日に越生町の組合加入に伴い「西入間広域消防組合」に改称し、その後、昭和58年4月1日に鳩山分署、昭和60年4月1日に越生分署をそれぞれ開設し現在に至っています。

共同で運用をしています。現在消防署員数は114名で、毛呂山町、鳩山町及び越生町の各消防団員並びに女性消防団員と協力し合いながら地域に密着した様々な警防活動を実施すると共に昼夜を問わず火災の消火、救急活動を行い3町の安心安全な生活を守っています。

近年起こっている、異常気象による災害やコロナウイルスのような新たなウイルス感染などによる緊急事態にも命を顧みず目の前の災害に立ち向かって対応しています。

なお、組合議員の定数は11名で、内訳は毛呂山町5名、鳩山町3名及び越生町3名で構成されており、毛呂山町からは(小峰明雄(消防議長)、村田忠次郎、荒木かおる、佐藤秀樹、平野隆)が議員として選出されています。

6月定例会傍聴者数

本会議日	傍聴者数
5月29日(金)	0名
6月1日(月)	5名
合計	5名

あとかぎ

4月7日新型コロナウイルス特措法に基づく「緊急事態宣言」が発令された後未だ平常な生活に戻らない日々が続いております。今までの常識が非常識となり、これからは新しい生活スタイルが模索されている今日であります。

いつ終息するかわからない中、新型コロナウイルスのまん延により、医療従事者等の皆様をはじめ、自らの危険を顧みず最前線で感染症対策に携わっている多くの方々に対しまして、心より感謝を申し上げます。一日も早く町内企業が活気を取り戻し町民の皆様が安心して暮らしていきますように我々も議会一丸となり議会活動に邁進して参りたいと思います。

編集委員

- 委員長 下田 泰章
- 副委員長 荒木かおる
- 委員 神山 和之
- 澤田 巖
- 佐藤 秀樹
- 千葉三津子
- アドバイザー (議長) 長瀬 衛

(佐藤 秀樹)